

第1章 我が国と中部圏を取り巻く状況・課題

第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本方針

時代の潮流(我が国を取り巻く情勢)

- > グローバリゼーションの進展
- > 世界を先導するスーパーメガリージョンの形成
- > 急激な人口減少・少子化、異次元の高齢化
- > 巨大災害の切迫、インフラ老朽化
- > 環境、エネルギー問題への対応
- > 技術革新の進展
- > 国民の価値観の変化
- > 国土空間の変化

中部圏を取り巻く情勢

■中部圏の地域特性・強み

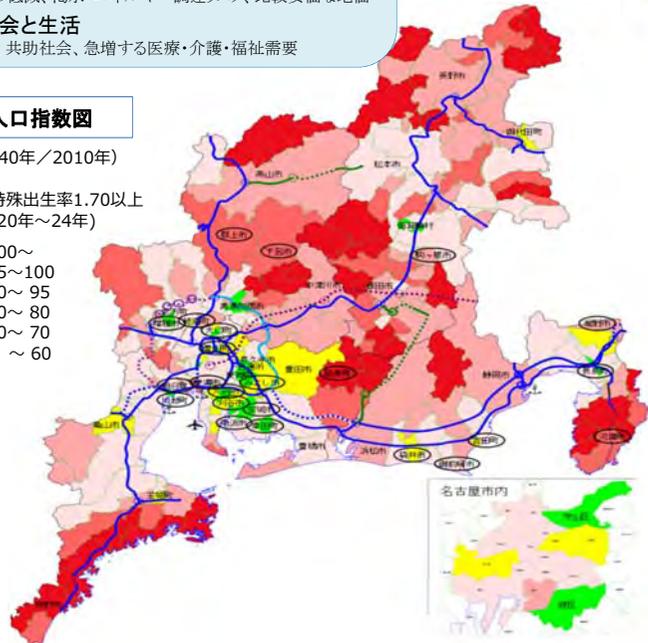
- > 地勢・自然特性
  - ・中部圏骨格をなす東西・南北・環状軸、環太平洋・環日本海に拓く
- > 歴史・文化的特性
  - ・新進気鋭、ものづくりにいきづく、地域に根づく歴史文化
- > 多極分散型・重層的な地域構造
- > ものづくりに秀でた産業特性
  - ・人材力・技術力・集積力、研究力、品質力、航空宇宙産業MRJ
- > ゆとりある生活環境・職住自然近接、地域コミュニティ力

■中部圏の状況・課題

- > 人口動向
  - ・中山間地(人口半減)、名古屋大都市圏(製造業、人口・維持増加)生産労働人口減、女性の東京圏流出
- > 産業とインフラ
  - ・激化する国際競争、ものづくりの高付加価値化、ICT・ロボット遅れる国際交流、昇龍道の始動、整備途上のインフラ
- > 災害
  - ・高い災害リスク、南海トラフ地震、頻発激甚化する自然災害
- > 環境・エネルギー・土地
  - ・環境負荷の低減、湯水・エネルギー調達リスク、比較安価な地価
- > 地域社会と生活
  - ・農業・農村、共助社会、急増する医療・介護・福祉需要

■人口指数図

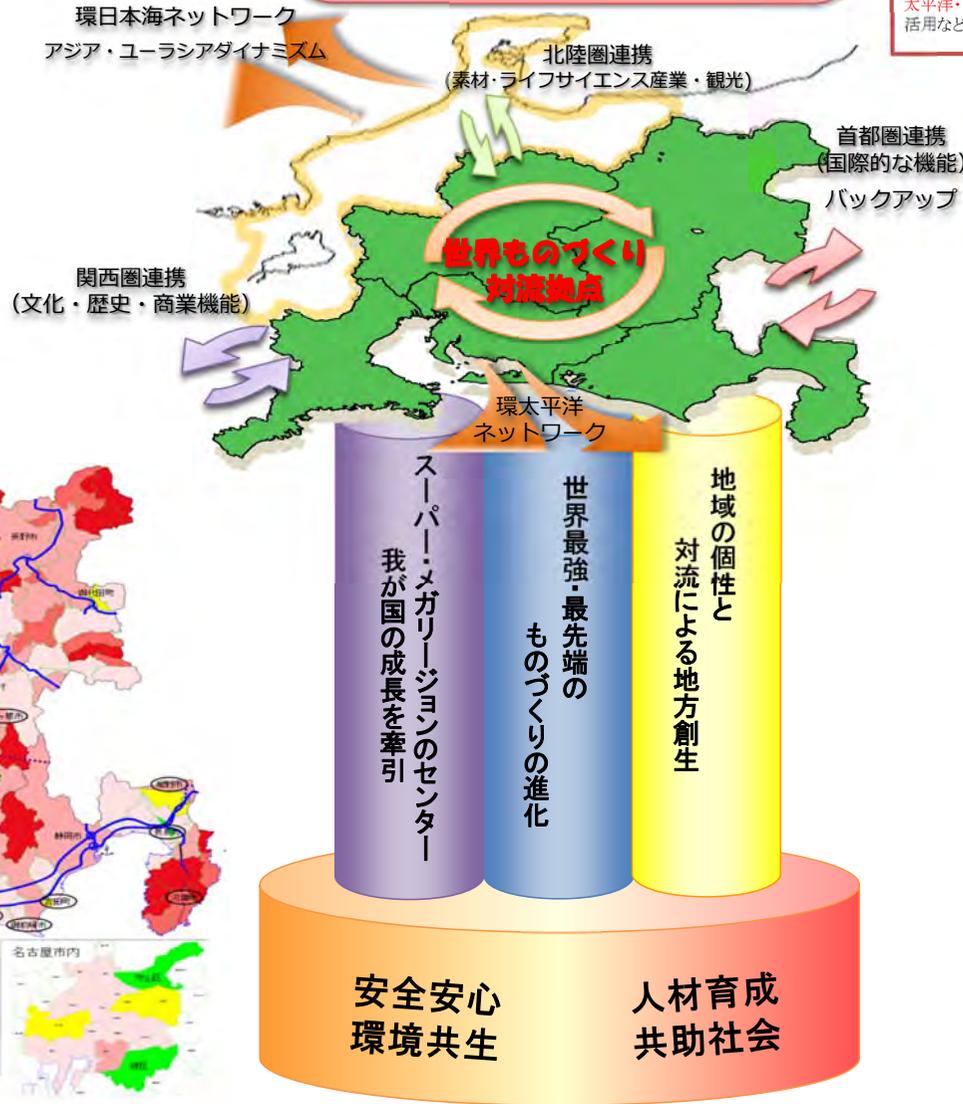
(2040年/2010年)



中部圏の将来像

暮らしやすさと歴史文化に彩られた  
“世界ものづくり対流拠点-中部”

- > ゆとりを備えた暮らしやすさ、近世を切り拓いた新進気鋭、ものづくりにいきづき、地域に根付く歴史文化
- > 世界に冠たるものづくりの技術と品質を最大の熱源、国内外から、ヒト・モノ・カネ・情報を引き付け対流、環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点



<世界の中の中部>

世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ  
世界に冠たるものづくり技術と品質、世界中からビジネスチャンス求めて、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり対流。環太平洋・日本海に拓かれた我が国の一大産業拠点

<日本の中の中部・中部の中の人々>

リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部  
リニア、高速交通ネットワークを活かし中部・北陸に広がる国内外との交流連携、対流促進。産業や文化、ライフスタイルなど新たな価値創造、ひとり一人が豊かさを実感、地方創生

<前提となる安全・安心、環境>

南海トラフ地震などの災害に強くなやが、環境と共生した国土  
太平洋・日本海2面活用型の強靱な国土。環境共生、国土保全、国土基盤の維持管理・活用など、国土の適切な管理による安全安心で持続可能な国土

将来像実現に向けた基本方針

世界最強・最先端のものづくりの進化

世界を先導、人材力・技術力・集積力、研究力、品質力のさらなる進化。国内外から投資を呼び込む太平洋から日本海に至る広域産業クラスター。中部・北陸圏、産学官民の連携強化

スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

リニア効果を中部・北陸圏の広域に最大化する地域づくり。中部圏の魅力を高め、東京一極集中是正と地方への人口還流、国際大交流時代を先導

地域の個性と対流による地方創生

コンパクト+ネットワーク。地域の個性・資源を磨き上げ、重層的対流を促進。地域に活力を生み、就業が安定的に確保され、豊かさを実感できる社会構築

安全・安心で環境と共生した中部圏形成

南海トラフ地震など自然災害に備えた防災・減災対策  
環境共生(生物多様性、景観) 国土保全(水循環、森林・農地) 国土基盤の戦略的メンテナンス、持続可能な中部圏構築

人材育成と共助社会の形成

次代を担う人材の育成、ゆとりある生活環境を活かし、女性や高齢者を始め誰もが参画できる社会。地域に愛着と憧れを持ち助け合う共助社会を実現

# 新たな中部圏広域地方計画(中間整理案) 要旨

## 第3章 基本方針に係る具体的方策

### 第1節 世界最強・最先端のものづくりの進化

- 我が国の成長を担う産業の強化～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～
  - 戦略産業(自動車・航空宇宙・ヘルスケア・環境)のものづくりマザー機能、ものづくりを支える中堅・中小企業中部・北陸圏連携、環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点形成
- 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出
  - ものづくり産業に関連する新産業の創生、産官学民の研究ネットワーク連携強化、さらなる研究力の強化
- 水素社会実現、新しい世界モデルの提示
  - FCV開発・量産化など水素社会実現のアドバンテージ、未来の水素社会の世界モデルを提示
- 国際競争力を支える産業基盤の強化
  - 国際物流拠点(空港・港湾)・道路ネットワークの強化、総合的土地活用、エネルギー安定供給・多様化、水資源

### 第2節 スーパーメガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

- リニアを活かした新たな中部圏の形成～日本のハートランド・中部～
  - 中部圏の役割(東京一極集中是正、地方への人口環流) 新たな価値創造(産業構造転換、多様なライフスタイル) 階層的大都市圏(名古屋大都市圏、中京大都市圏) リニア中間駅(長野県駅・岐阜県駅)を核とした地域づくり 東海道新幹線・新東名高速道路沿線地域へのリニア効果波及
- リニア効果の中部・北陸圏への広域的波及
  - 名古屋駅スーパーターミナル化、リニアと陸海空の一体的ネットワーク強化 (中部国際空港機能強化・名古屋駅アクセス強化、道路・鉄道ネットワークの強化)
- 国際大交流時代を拓く観光・交流
  - 広域観光交流圏形成、昇龍道プロジェクト、クルーズ観光
  - MICE誘致・受入環境、コンベンション機能充実、国際イベント誘致、情報発信



### 第3節 地域の個性と対流による地方創生

- コンパクト+ネットワーク
  - 小さな拠点(道の駅、みなとオアシス等活用)、地域特性・資源(産業・観光・生活等)を活かした重層的対流促進
- 広域的な連携により創出、都市圏・地方圏形成
  - 連携中核都市圏、定住自立圏、県境を越える広域連携
- 地域産業の活性化による地域活力の維持・発展
  - 農林水産業の成長産業化、地域消費型産業振興
- 地域の個性を活かした交流連携の創出
  - 中部ならではの地域資源(自然、歴史文化、景観、伝統工芸・技術等)の保存・継承・磨き上げ・掘りおこし・活用、観光交流
- 快適で安全・安心な生活環境の構築
  - 住民や利用者ニーズにマッチした次世代交通システム、生活環境の安全・安心

#### 多様な地域特性・地域資源



#### コンパクト+ネットワークイメージ



### 第4節 安全・安心で環境と共生した中部圏形成

- 災害に対して粘り強くなやかな国土構築
  - 南海トラフ地震、頻発・激甚化する自然災害、都市防災力・産業防災力、広域的支援体制、ネットワークの多重性・代替性、太平洋・日本海2面活用型国土、首都圏バックアップ体制、地域防災力
- 環境と共生した持続可能な地域づくり
  - 生物多様性、自然と調和する美しい景観・国土づくり、低炭素社会、担い手
- 国土の適切な保全
  - 循環型国土(健全な水循環、土砂管理、物質循環) 森林・農地の整備保全
- インフラの維持・整備・活用
  - 戦略的メンテナンス、賢く使う、民間活力、地域の守り手・建設業強化、担い手育成

#### 太平洋・日本海2面活用型国土構築・首都圏バックアップ機能強化



#### 女性活躍社会に向けた取組



#### 多様な主体による共助社会・地域づくりの取組(長野県飯田市)



#### 高速交通ネットワークが切り拓くこれからの中部



# 新たな中部圏広域地方計画 中間整理(案) 概要版

---

暮らしやすさと歴史文化に彩られた  
“世界ものづくり対流拠点-中部”

平成27年 9月10日

# 新たな中部圏広域地方計画 中間整理（案） 概要

## 第1章 我が国と中部圏を取り巻く情勢

## 第2節 中部圏を取り巻く情勢

### 第1節 時代の潮流（我が国を取り巻く情勢）

1. グローバリゼーションの進展
2. 世界を先導するスーパーメガリージョンの形成
3. 急激な人口減少・少子化、異次元の高齢化の進展
4. 巨大災害の切迫、インフラ老朽化
5. 環境、エネルギー問題への対応
6. 技術革新の進展
7. 国民の価値観の変化
8. 国土空間の変化

### 1. 中部圏の地域特性・強み

- (1) **地勢・自然的特性**  
・中部圏骨格「東西・南北・環状軸」、環太平洋・環日本海に拓く
- (2) **歴史・文化的特性**  
・新進気鋭、ものづくりにいきづく、地域に根づく歴史文化
- (3) **多極分散型・重層的な地域構造**
- (4) **ものづくりに秀でた産業特性**  
・人材力・技術力・集積力、研究力、品質力、航空宇宙産業MRJ
- (5) **ゆとりある生活環境** ・職住自然近接、地域コミュニティ力

### 2. 中部圏の状況・課題

- (1) **人口動向** ・中山間地（人口半減）、名古屋大都市圏（人口・維持増加）  
生産労働人口減、女性の東京圏流出
- (2) **産業とインフラ** ・激化する国際競争、ものづくりの高付加価値化、ICT・ロボット  
遅れる国際交流、昇龍道の始動、整備途上のインフラ
- (3) **災害** ・高い災害リスク、南海トラフ地震、頻発激甚化する自然災害
- (4) **環境・エネルギー・土地**  
・環境負荷の低減、渇水・エネルギー調達リスク、比較安価な地価
- (5) **地域社会と生活** ・農業・農村、共助社会、急増する医療・介護・福祉需要

## 第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本方針

### 第1節 中部圏の目指すべき将来像

暮らしやすさと歴史文化に彩られた  
“世界ものづくり対流拠点-中部”

<世界の中の一部>

世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ

<日本の中の一部・中部の中の人々>

リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部

<前提となる安全・安心、環境>

南海トラフ地震などの災害に強くなやか、環境と共生した国土

### 第2節 実現に向けた基本方針

世界最強・最先端のものづくりの進化

スーパー・メガリージョンのセンター  
我が国の成長を牽引

地域の個性と対流による地方創生

安全・安心、環境共生

人材育成、共助社会

## 第3章 基本方針に係る具体的方策

### 第1節 世界最強・最先端のものづくりの進化

1. **我が国の成長を担う産業の強化**～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～  
・戦略産業、ものづくりマザー機能、中堅・中小企業、環太平洋・環日本海Iに拓く一大産業拠点
2. **高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出**  
・ものづくり関連新産業創生、産学官民の研究ネットワーク連携強化、さらなる研究力強化
3. **水素社会実現、新しい世界モデルの提示** ・FCV開発、水素社会の世界モデル
4. **国際競争力を支える産業基盤の強化**  
・国際物流拠点（空港・港湾）・道路ネットワーク強化、総合的土地利活用、水・エネ供給多様化

### 第3節 地域の個性と対流による地方創生

1. **コンパクト＋ネットワーク** ・小さな拠点（道の駅等活用） 地域特性（産業・観光・生活）を活かした重層的対流
2. **広域的な連携により創出、都市圏・地方圏** ・連携中枢都市圏、定住自立圏、県境を越える広域連携
3. **地域産業の活性化による地域活力の維持・発展** ・農林水産業の成長産業化、地域消費型産業振興
4. **地域の個性を活かした交流連携の創出**  
・地域資源（自然、歴史文化、美しい風土風景・景観、伝統工芸）の保存、継承、磨き上げ、掘りおこし、活用
5. **快適で安全・安心な生活環境の構築**  
・住民や利用者ニーズにマッチした次世代交通システム、生活環境の安全・安心確保

### 第2節 スーパーメガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

1. **リニアを活かした新たな中部圏の形成**～日本のハートランド・中部～  
・東京一極集中是正、地方への人口環流、産業構造転換、多様なライフスタイル  
階層的大都市圏構築、リニア中間駅・東海道新幹線沿線地域づくり
2. **リニア効果の中部・北陸圏への広域的波及**  
・名古屋駅スーパーターミナル化、リニアと陸海空の一体的ネットワーク強化
3. **国際大交流時代を拓く観光・交流**  
・広域観光交流圏、昇龍道、クルーズ、コンベンション機能、国際イベント誘致

### 第4節 安全・安心で環境と共生した中部圏形成

1. **災害に対して粘り強くなやかな国土構築**  
・南海トラフ地震、自然災害、都市防災力、産業防災力、  
ネットワーク多重性・代替性、太平洋・日本海2面活用国土  
首都圏バックアップ、地域防災力
2. **環境共生 持続可能な地域づくり** ・生物多様性、景観
3. **国土の適切な保全** ・循環型国土、森林・農地
4. **インフラの維持・整備・活用**  
・戦略的メンテ、賢く使う、民間活力、地域の守り手強化育成

### 第5節 人材育成と共助社会の形成

1. **中部圏を支える人材育成**・グローバル人材、地域
2. **全ての人々が参画し輝く社会の形成**  
・女性、高齢者、障害者、多文化
3. **多様な主体による共助社会づくり**  
・多様な主体、活動の継続性、資金調達・資金循環
4. **誰もが愛着と憧れ住み続けたい地域づくり**
5. **医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保**  
・地域包括ケアシステム、ICT活用医療・介護システム 等

# 第1章 我が国と中部圏を取り巻く情勢

## 第1節 時代の潮流(我が国を取り巻く情勢)

### 1. グローバリゼーションの進展(都市間競争、ものづくり、観光等)

- 東アジア・東南アジア諸国の急速な経済成長、国際競争激化  
産業の空洞化、アジア・ユーラシアダイナミズムの取り込み
- 訪日外国人旅行者3,000万人を見据えた、2000万人早期実現

### 2. 世界を先導するスーパーメガリージョンの形成

- 2027年リニア東京名古屋40分、東京・名古屋・大阪1時間
- 東京圏(国際的機能)+名古屋圏(ものづくり)+関西圏(歴史文化・商都)連携・融合、対流、リニア+陸海空高速ネットワーク

### 3. 急激な人口減少・少子化・異次元の高齢化の進展

- 我が国の居住地域の6割で人口半分以下、2割で無居住化
- 生産年齢人口2050年4割減、高齢化率約4割

### 4. 巨大災害の切迫、インフラ老朽化

- 南海トラフ地震・首都直下地震、今後30年以内発生確率70%
- 頻発・激甚化する自然災害
- 太平洋日本海2面活用の強靱な国土
- 加速度的に増加するインフラの高齢化、急速に進む老朽化  
[ex 建設後50年経過の道路橋(現況)18%→(20年後)67%]

### 5. 環境、エネルギー問題への対応

- エネ資源の高い海外依存度、メタンハイドレート等新エネ資源
- クリーンエネルギー・水素、スマートシティ、低炭素社会

### 6. 技術革新の進展

- ICT・ロボット技術活用、生産性向上、テレワークなど労働環境
- ビックデータ、水素技術(FCV・鉄道・船舶等)、世界をリード

### 7. 国民の価値観の変化

- 女性、高齢者の社会参画意欲
- 若者のライフスタイル多様化  
グローバルに活動「経済志向」、地域で豊かさを求める「生活志向」
- 地縁型コミュニティの弱体化
- 地域固有の課題解決に取り組む共助社会への意識高揚

### 8. 国土空間の変化

- 森林管理の困難化、耕作放棄地・未利用地・空き家の増加

## 第2節 中部圏を取り巻く情勢

### 1. 中部圏の地域特性・強み

#### ① 地勢・自然的特性

- 中部圏の骨格をなす**東西軸**・**南北軸**・**環状軸**
- 2008東海北陸道全通、**環太平洋**・**環日本海**に拓かれた**中部**・**北陸圏**
- 日本の屋根・中部山岳、**多種多様な自然環境**・景観、肥沃な土壌・水
- 我が国最大ゼロメートル地帯・濃尾平野、脆弱な国土基盤

#### ② 歴史的・文化的特性

- 近世を拓く先進気鋭**、ものづくりにいきづき、地域に根付く**歴史・文化**
- 江戸時代の本街道・脇往還筋の宿場町から発展、「まち」のつながり
- ものづくり、源流「からくり」から発し多様な技術の組合せで、発展
- 精神文化(伊勢・熊野等)伝統文化(地歌舞伎・山車祭・海女・忍者等)

#### ③ 多極分散型・重層的な地域構造

- 国際中枢都市・名古屋、**産業都市**、**歴史文化**を醸し出す、**自然**に秀でた都市・地域の分布
- 産業**、**観光**、**生活**など多様な面での**重層的なつながり**

### 2. 中部圏の状況・課題

#### (1)人口動向(「人口減少に適応」地域づくり)

- 中山間地**等は、**人口減少度合い高い**(半減地域5割、うち無居住化は1割)
- 製造業集積地域や交通利便性の高い**名古屋大都市圏**は**現状を維持**
- 2050高齢化率36%(全国39%)、ピーク時期が地方部と都市部で相違
- 生産年齢人口減少(2040年、現在の3/4程度に減少)
- 女性の東京圏流出**(男性の1.5倍の女性が東京圏へ流出継続)
- 女性・高齢者が働き住み続けなくなる環境整備

#### (2)産業とインフラ(激化する国際競争、整備途上インフラ)

- 中堅・中小企業の疲弊、国内回帰の動き
- ものづくり高付加価値化**、ICT・ロボット技術、サービス機能と連携
- 遅れる国際交流**(外国人宿泊者シェア1割、中部国際空港国際旅客数6%)
- 昇龍道プロジェクトの始動**(訪日外国人旅行者宿泊者数1.9倍の伸び)
- リニアを活かす**陸海空・高速交通ネットワーク**

#### (3)災害(災害リスクが高い脆弱な国土基盤)

- 圏域の**6割が災害リスク**を抱え、そこに**人口の約9割が集積**
- 南海トラフ地震**、頻発・激甚化する自然災害
- 首都直下地震、首都圏機能バックアップする中部の**防災力強化**

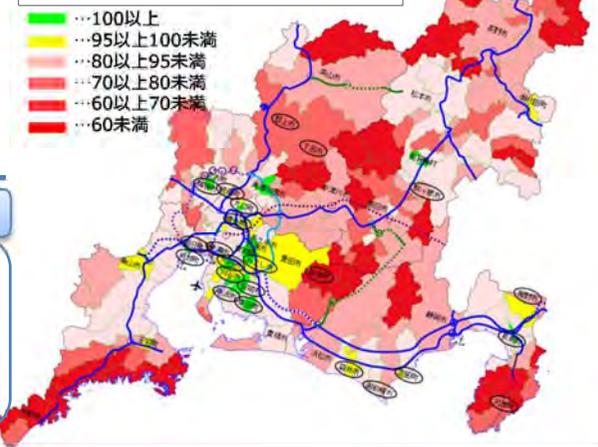
#### ④ものづくりに秀でた産業特性

- ものづくりマザー機能(**人材力**・**技術力**・**集積力**)
- 日本の成長エンジンの一翼**、ものづくり中枢圏
- 産学官民連携、高度な**研究力**、**品質力**  
(ex 青色LEDカーボンナノチューブ)
- 航空宇宙産業に新たな1ページ **MRJ**

#### ⑤ゆとりある生活環境

- 職住近接**、**都市と自然の近接性**
- 子供を産み育てやすい生活環境、**地域コミュニティ力**  
(高い三世代世帯比率、出生率)

■人口指数図(2040/2010年\*100)



#### (4)環境、エネルギー、土地

- 伊勢湾の水質改善、大気環境負荷低減
- 渇水リスク・エネルギー調達リスクの高まり
- 豊富な森林資源、木質バイオマス発電など再生可能エネ
- 比較安価な地価の優位性
- 新東名開通・地域整備、内陸部は地価上昇、インフラ効果

#### (5)地域社会と生活

- 特色ある農業生産活動、農業農村の多面的機能維持発揮
- NPO活動、愛知万博を契機に萌芽、共助社会の進展
- 重度介護を要しない比較的健康な高齢者が多い特徴、  
予防型社会構築へのアドバンス、地域包括的ケアシステム

## 第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本方針 ①

### 目指す方向

- 世界を先導するスーパー・メガリージョンを舞台に、そのセンターとして、ものづくりを基軸に我が国の成長エンジンの一翼を担う。中部・北陸圏の連携、環太平洋・環日本海に拓かれたグローバルにヒト・モノ・カネ・情報が対流する拠点となり世界をリード
- 中核をなす名古屋大都市圏と周辺都市・地域が連携・融合し対流を促進。災害に強く、自然と共生、活力に溢れ、出会い豊かで働き住み続けたい中部圏を構築。
- 2027年リニア東京・名古屋間開業までに、人口減少・高齢化に適応し、安全・安心な、リニア効果を最大限発揮し得る中部圏を構築、東京一極集中の是正や地方への人口環流を先導。



### 中部圏の将来像

## 暮らしやすさと歴史文化に彩られた “世界ものづくり対流拠点-中部”

- 日本のまんなかで、交通の要衝にある中部圏は、空間的・時間的・経済的ゆとりを備えた暮らしやすく、近世を切り拓いた新進気鋭で、ものづくりにいきづき、地域に根付く歴史文化に彩られた圏域特性。
- 世界に冠たるものづくりの技術と品質を最大の熱源、暮らしやすさや歴史文化などの多様な熱源により、国内外から ヒト・モノ・カネ・情報を引き付け対流、環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点

＜世界の中の中部＞  
世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ

世界に冠たるものづくり技術と品質。世界中からビジネスチャンスを求めて ヒト、モノ、カネ、情報が集まり対流。環太平洋・日本海に拓かれた我が国の一大産業拠点

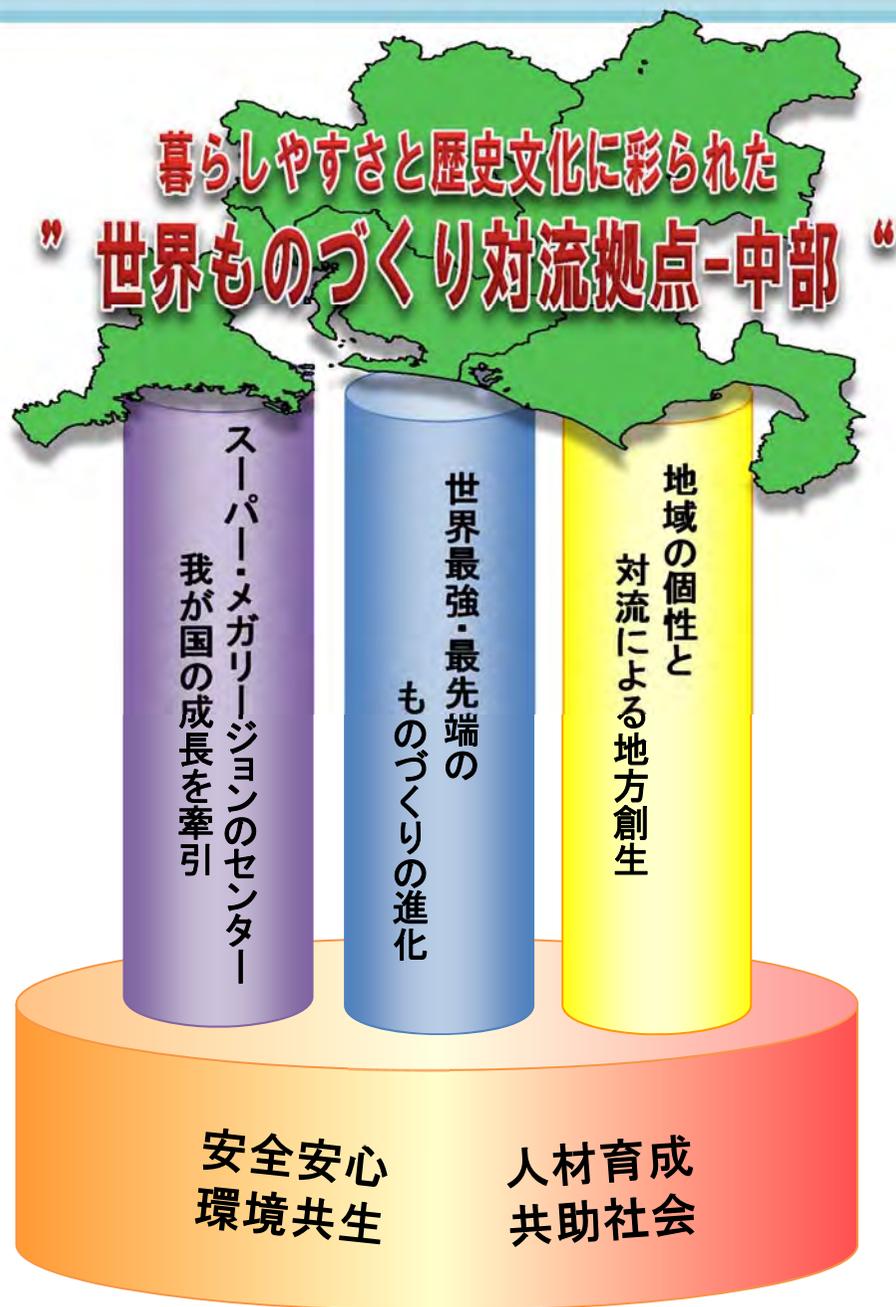
＜日本の中の中部・中部の中の人々＞  
リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部

リニア・高速交通ネットワークを活かし中部北陸に広がる国内外との交流連携、対流促進。産業や文化、ライフスタイルなど新たな価値創造、ひとり一人の豊かさを実感、地方創生

＜前提となる安全安心・環境＞  
南海トラフ地震などの災害に強くなやか、環境と共生した国土

太平洋・日本海2面活用型の強靱な国土。環境共生、国土保全、国土基盤の維持管理・活用など、国土の適切な管理による安全安心で持続可能な国土

将来像実現に向けた基本方針



世界最強・最先端のものづくりの進化

世界を先導、人材力・技術力・集積力、研究力、品質力のさらなる進化。国内外から投資を呼び込む太平洋から日本海に至る広域産業クラスター。中部・北陸圏、産学官民の連携強化

スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

リニア効果を中部・北陸圏の広域に最大化する地域づくり。中部圏の魅力を高め、東京一極集中是正と地方への人口還流、国際大交流時代を先導

地域の個性と対流による地方創生

コンパクト＋ネットワーク。地域の個性・資源を磨き上げ、重層的対流を促進。地域に活力を生み、就業が安定的に確保され、豊かさを実感できる社会構築

安全・安心で環境と共生した中部圏形成

南海トラフ地震など自然災害に備えた防災・減災対策。環境共生(生物多様性、景観) 国土保全(水循環、土砂管理、森林・農地)。国土基盤の戦略的メンテナンス、持続可能な中部圏構築

人材育成と共助社会の形成

次代を担う人材の育成、ゆとりある生活環境を活かし、女性や高齢者を始め誰もが参画できる社会。地域に愛着と憧れを持ち助け合う共助社会を実現

### 第3章 将来像実現に向けた具体的方策

### 第1節 【方針1】世界最強・最先端のものづくりの進化 ①

ものづくり中部の人材力、技術力、集積力、加えて研究力、品質力に磨きをかけ、戦略産業を中心に強力なクラスターを形成。ICTやものづくり技術の活用・応用により新たな産業を創生するとともに、水素技術を先導的に実社会に還元を図り、世界から、ヒト・モノ・カネ・情報が集まり、対流する世界最強・最先端のものづくり中枢圏域を形成

我が国の成長を担う産業の強化～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～

#### (1) 中部圏の産業競争力の強化、世界最強・最先端のものづくり中枢圏の形成 (戦略産業の強化・ものづくりマザー機能強化)

- 新たな成長ステージへの移行を牽引する戦略産業 (自動車関連産業・航空宇宙産業・ヘルスケア産業・環境産業)
- ものづくりマザー機能(人材力・技術力・集積力)、太平洋から日本海に至る広域産業クラスター、世界最先端の品質力、絶え間ないイノベーション創出、ICT・ロボット技術の積極活用

#### (グローバル展開の支援)

- 世界最適生産体制構築、研究開発等ものづくり中枢機能は国内工場に維持、拡充
- 海外の高度人材が求める高質なサービス提供する生活環境、留学生・研修生受入環境、海外企業の戦略的誘致

#### (2) ものづくりを支える中堅・中小企業の振興

- ものづくりマザー機能の重要なポジション、サプライチェーン全体に関わる中堅・中小企業
- ビジネスマッチングや販路拡大支援などによる活性化、技術力、競争力、経営力を強化

#### (3) 環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点・中部北陸圏の連携強化

- 高度なものづくり集積の中部圏、素材産業などに特徴を有する北陸圏の戦略的連携
- 東海北陸連携コンポジット・ハイウェイ構想、炭素繊維複合材に係る研究開発・生産・加工・組立、中部・北陸の強みを活かした連携強化、アジア・ユーラシアダイナミズムを取り込む我が国の一大産業拠点



### 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創生

#### ■ 中部圏ものづくり産業構造イメージ

#### (1) ものづくり産業に関連する新たな産業の創生

- ICT、ロボット技術の積極的活用
- 様々なモノに通信機能を持たせ相互に接続・通信するモノのインターネット化 (IoT)

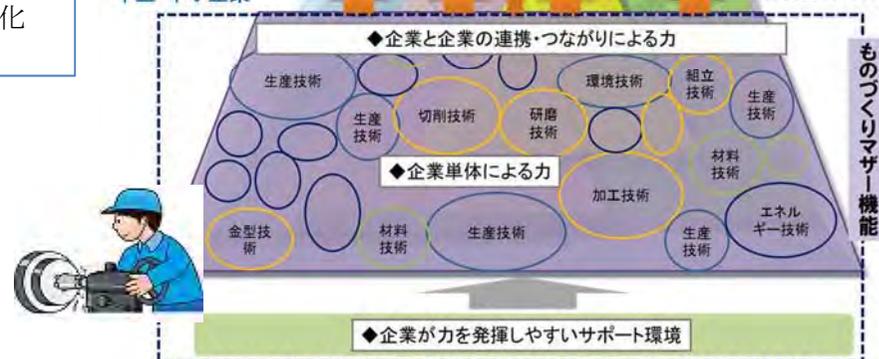
#### (2) 大学や官・民の研究施設等のネットワーク強化による更なる研究力の強化

- 高度な研究力を発展させた絶え間ない革新的なイノベーションの創出
- ものづくり産業に資する政府関係機関の地方移転受入、知的対流拠点機能の整備・強化
- 新たな知的財産に基づく新規起業を促進する環境整備



### 水素社会実現など新しい世界モデルの提示

- 先陣を切ったFCV開発・量産化、水素社会実現のアドバンテージ
- 水素関連技術の活用、家庭用燃料電池、公共交通機関や産業車両フォークリフト等への導入、水素ステーションの整備促進
- 低炭素社会に向けた未来の水素社会の世界モデルを提示



国際競争力を支える産業基盤の強化

(1) 基幹産業を支える国際物流拠点の強化

① 国際拠点港湾等の機能強化

- ・名古屋港等国際拠点港湾や重要港湾の**国際物流機能強化**、大型化するコンテナ船対応、コンテナ・完成自動車等物流機能強化、ふ頭施設再編・高度化
- ・バルク貨物(穀物、石炭、石油、天然ガス、チップ等)の**安定・安価な輸入**のための機能強化

② 国際拠点空港の機能強化

- ・中部国際空港の国際貨物ネットワーク拡充、**完全24時間化**など人流・物流機能の強化
- ・空港、港湾の水際の危機管理対策強化

(2) ものづくり産業を支える陸海空の拠点を結ぶ道路ネットワーク強化

- ・東海環状東回りストック効果、沿線の工業団地3倍増加、沿線市町製造品出荷額1.4倍増
- ・**ミッシングリンク**が新たな成長ステージ発展への妨げ。**東西軸**(新東名・新名神等)、**南北軸**(東海北陸道等)、**環状軸**(東海環状西回り等) **基幹ネットワーク**の強化。
- ・**国際空港・港湾**や**生産拠点集積地域**への**アクセス強化**。
- ・ITS活用やスマートIC等、**インフラを賢く使う**、人流・物流の円滑性、**生産性向上**に貢献

(3) 将来を見据えた総合的な土地の利活用

- ・治水安全性向上、交通インフラ機能強化等に合わせた**生産拠点**や**物流拠点**等の**計画的整備**
- ・地域の安全、経済成長等**持続的な地域経営**を実現する観点からの**総合的な土地の利活用**

(4) 安定したエネルギー供給や多様化・水資源の確保

- ・省エネルギー化と**木質バイオマス**等**再生可能エネルギー**、**メタンハイドレート**等**新エネルギー源**の開発、エネルギーの**ベストミックス**の実現。
- ・**水の安定供給**、水資源開発施設整備や既存施設の有効活用

国際物流を支える名古屋港飛島ふ頭( IT自動化コンテナターミナル)

ものづくり中部の象徴・名古屋港

- ・総取扱貨物量は12年連続全国1位(2.1億トン)
- ・貿易額は4年連続全国1位(16.3兆円)
- ・貿易黒字額全国1位(6兆円)



世界初

TS1 (-16m) TS2 (-18m)



日本初

AGV(自動搬送台車)

ものづくり産業を支える物流インフラネットワーク



新東名高速道路



環日本海ネットワーク

環太平洋ネットワーク



名古屋港

名古屋港管理組合

中部国際空港

### 第3章 将来像実現に向けた具体的方策 第2節【方針2】スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引 ①

世界を先導するスーパーメガリージョンのセンターを担う中部。リニア効果を最大化し、中部圏の新たな価値を創造するとともに、ものづくりやゆとりある生活環境などの地域特性を活かした地域づくり。東京一極集中是正と地方への人口環流を先導、また、国際大交流時代を迎える中で、国際的な観光交流を先導し我が国の成長を牽引。

#### リニアを活かした新たな中部圏の形成～日本のハートランド・中部～

##### (1) 中部圏の役割と中部固有の新たな価値の創造

###### ①スーパー・メガリージョンにおける中部圏の役割

- ・ものづくりを基軸、我が国の成長エンジンの一翼、**世界からヒト、モノ、カネ、情報**を引き寄せ**対流**する拠点
- ・東京一極集中是正、地方への人口環流を先導

###### ②新たな価値創造(産業構造転換、多様なライフスタイル)

- ・政府関係機関、企業の本社・研究開発機能等の移転受入促進
- ・**テレワーク・二地域居住**等多様なライフスタイルの選択肢提供

###### ③日本のハートランド・中部

- ・**活力ある都市**と、自然豊かで歴史文化に彩られた**地方**の連携・融合。**名古屋大都市圏**を玄関に、**周辺都市・地域**を心休まる**奥座敷**、玄関と奥座敷が融合した心の故郷・**ハートランド**を構築

##### (2) 国際競争力のある階層的大都市圏構造の構築

- ・大名古屋への変革を図る**名古屋大都市圏**、世界のNagoyaへ
- ・活力ある都市圏の連なり強みを増す**中京大都市圏**

##### (3) リニア中間駅を核とした地域づくり

###### ①リニア長野県駅(飯田地域等)

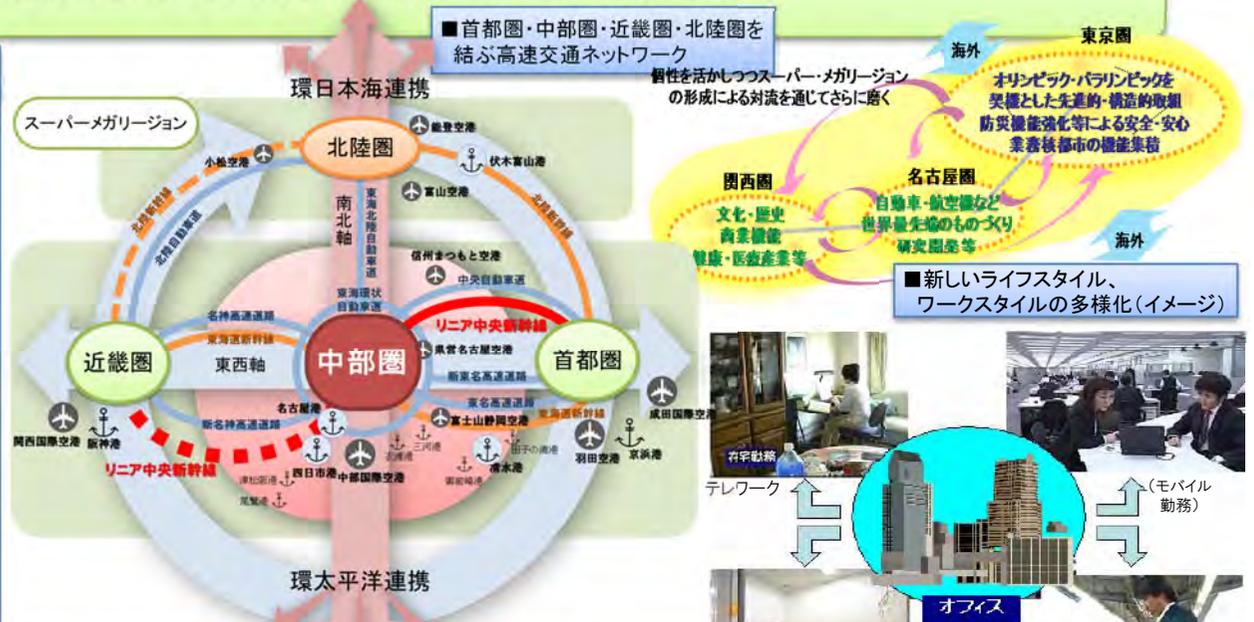
- ・東京圏と45分アクセス地の利、企業の本社・研究開発機能立地促進、航空宇宙産業クラスター形成
- ・**大自然**の中で働き暮らす**新しいライフスタイル**、移住定住・二地域居住、山岳高原・多彩な伝統文化、**地域も人々も輝くリニアバレー**

###### ②リニア岐阜県駅(中津川地域等)

- ・日本の**原風景**に接する、宿場・街道・温泉・山車祭り・地歌舞伎等**伝統文化**の体感、農業・林業資源を活かす**広域周遊型観光**の拠点
- ・東海環状+中央道+リニア結節(**東濃クロスエリア**)を活かした企業誘致・**産業力強化**、名古屋駅15分、名古屋大都市圏と一体的発展

###### (4) 東海道新幹線・新東名高速沿線地域へのリニア効果波及

- ・リニア開業に伴う東海道新幹線の利便性向上
- ・リニアと東海道新幹線、**新東名高速道路**が高速道路でラダー連結、**富士山静岡空港**や清水港との連結強化、**高速鉄道・空路・陸路・海路の一体化**、新東名高速道路沿線の地域開発



#### リニア効果の中部・北陸圏の広域的な波及

##### (1) 名古屋駅のスーパーターミナル化

- ・多モード結節拠点、**鉄道・バス**との乗換利便性、**高速道路**との**結節性強化**
- ・国際中枢都市・名古屋にふさわしいゲートウェイ、シンボリックな都市空間形成

##### (2) 広域波及のためのネットワーク強化

###### ①中部国際空港の機能強化、並びに名古屋駅とのアクセス強化

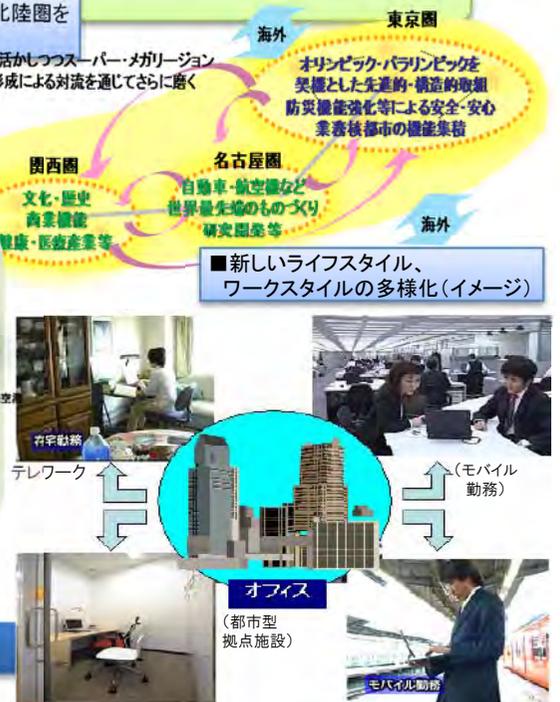
- ・中部国際空港・名古屋駅、**中部圏・名古屋**、及び我が国への**エントランス**
- ・中部国際空港と名古屋駅間、**シームレスな移動環境**、**両者の一体化**
- ・中部国際空港、**完全24時間化**、LCCなど新たな航空需要、機能強化

###### ②リニアと一体となった道路・鉄道ネットワークの強化(道路ネットワーク)

- ・名古屋駅と**周辺都市**との**アクセス強化**、**中部国際空港**と名古屋駅の**リダンダンシーアクセス**
- ・**リニア中間駅**(岐阜県駅、長野県駅、山梨県駅)への**アクセス強化**
- ・リニア効果を中部圏、北陸圏に波及拡大、**環状軸・東西軸・南北軸・半島アクセス軸**、基幹ネットワーク強化

###### (鉄道ネットワーク)

- ・東京圏への日帰り圏の拡大、名古屋駅**鉄道アクセス40分圏域**の拡大
- ・名古屋駅への速達性に課題、在来鉄道路線の機能強化、中間駅、在来線との結節性強化



© Central Japan Railway Company. All rights reserved.

## 【方針2】スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引 ②

### 国際大交流時代を拓く観光・交流

#### (1) 国内外との観光・交流の促進

##### ① 中部国際空港やリニア駅を核とした広域観光交流圏形成

- ・リニア・東海道新幹線・北陸新幹線の**高速鉄道環状ルートネットワーク**、高速道路や空港ネットワークとの連携強化、訪日外国人旅行者3000万人、国民の多様化する観光需要を取り込む**基盤形成**
- ・中部国際空港、リニア駅、富士山静岡空港、信州まつもと空港などを**イン・アウトの拠点**、高速交通ネットワークと連携したマルチモーダルな**広域観光周遊ルート**形成

##### ② 昇龍道プロジェクトの展開強化

- ・昇龍道エリア、**歴史文化、産業、自然、和食や日本酒などの食文化等**、様々な**観光資源の発掘、磨き上げ、テーマ性・ストーリー性**を持った周遊ルートの構築
- ・公衆無線LANなど外国人旅行者の受入環境整備、マルチモーダルな移動環境、ソフト・ハードのネットワーク化、**ゴールデンルートに比肩する昇龍道エリア**を構築

##### ③ クルーズの振興、普及

- ・増大する**クルーズ需要**、クルーズ船の積極的な誘致、クルーズ船寄港地と背後地域の広域的な連携

#### (2) 国際交流拠点の魅力創造・発信

- ・2016年主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）、国際交流ポテンシャルの向上、高速交通ネットワーク拡充は国内外に中部圏の魅力発信のアドバンテージ
- ・MICE（国際会議や国際見本市）、国際的なスポーツ大会、文化芸術イベント等の誘致促進
- ・これらの場にふさわしいMICE受入環境、コンベンション機能の拡充・強化

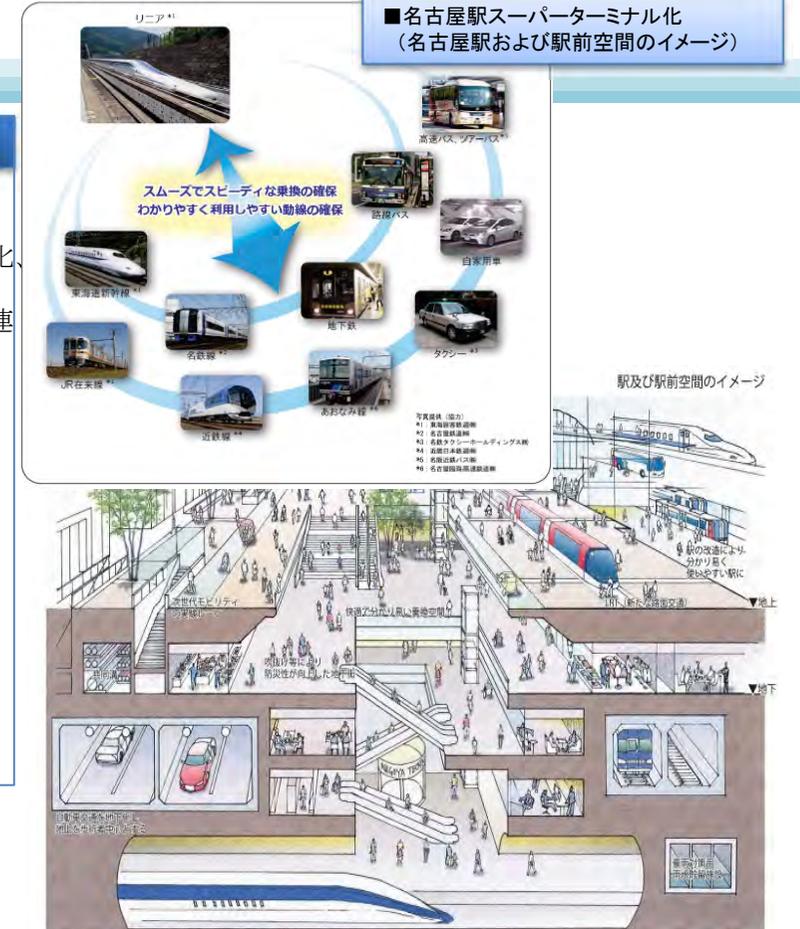
#### ■昇龍道プロジェクトの展開強化



#### ■広域観光交流圏の形成



リニアと各交通機関との乗換のイメージ



【出典：名古屋の街づくりを考える会資料】

#### ■クルーズの振興、普及



H27.5.16大勢の静岡市民が迎えたクルーズ船(ダイヤモンド・プリンセス)(清水港)

人口減少下において、行政や生活機能を一定のエリアにコンパクト化、交通ネットワークで結ぶことにより住民の生活利便性を向上。それぞれの地域が、産業や地域に根付く歴史文化や美しい風土風景・景観など地域資源を磨き、熱源となり、重層的な対流を促進することで、地域に活力を生み、就業が安定的に確保され、豊かさを実感できる社会、働き住み続けたい中部圏を創生。

コンパクト+ネットワーク

(1)「小さな拠点」の形成・活用による持続可能な地域づくり

①小さな拠点の形成

- ・現在の生活水準の維持が困難な地域が増加
- ・基幹集落に生活サービス機能やコミュニティ機能をコンパクトに集約
- ・周辺集落や都市部と交通ネットワークなどでつなぐ
- ・住民生活「守る」と、地域外住民との対流拠点「攻め」のふたつの役割

②「道の駅」や「みなとオアシス」などの有効活用

- ・中部の特色ある「道の駅」(150駅)、地域の元気を創る地域センター機能、地域外から活力を呼ぶゲートウェイ機能など多面的機能
- ・「みなとオアシス」、みなとの核とした、まちの賑わい、交流、観光、防災拠点機能等多面的機能

(2)地域特性に即した「コンパクト+ネットワーク」による対流の促進

- ・ものづくりに秀でた「産業」、「歴史文化の趣を醸し出す」「自然豊か」等様々な都市・地域がつながる地域特性
- ・車や航空機、セラミック等の産業分野、木工や焼き物等伝統技術、歴史文化、観光など多様な分野・テーマ、地域社会を形成してきた生活圏エリア等、テーマやエリアに応じた重層的な交流連携、対流により地方創生

広域的な連携により創り出す都市圏・地方圏の形成

(1)連携中枢都市圏や定住自立圏構想による新たな広域連携

①連携中枢都市圏

- ・中核市を中心とした近隣市町村の連携
- ・広域で一体的な生活・経済圏を形成、市町村連担による連携
- ・多様な高次都市機能サービスを連携補完

②定住自立圏構想

- ・中心市(人口5万人程度以上)と近隣市町村の連携協力

(2)地域の個性や特性を活かした広域連携による地域づくり

- ・高速道路整備の進展、県境を越えたより広域的な連携による多様な対流
- ・伊豆富士山丹沢エリア、中部横断エリア、三遠南信エリア、中部縦貫エリア、東紀州新宮南和エリアなど

■小さな拠点(コンパクト+ネットワーク)



◇小さな拠点の形成  
小学校や旧役場庁舎の周辺に日常生活を支える買い物、医療等の「機能」をコンパクトに集積  
交通と情報通信によるネットワークで周辺を支える

■「道の駅」の多面的な機能

- ・地域の産業や福祉、防災拠点など地域の元気を創る地域センター機能(守りの機能)
- ・地域の観光エンタランスなど地域外から活力を呼ぶゲートウェイ機能(攻めの機能)



■どんぐりの里いなぶ(豊田市)

- ・体験観光総合窓口機能
- ・地方移住情報発信機能を備える道の駅

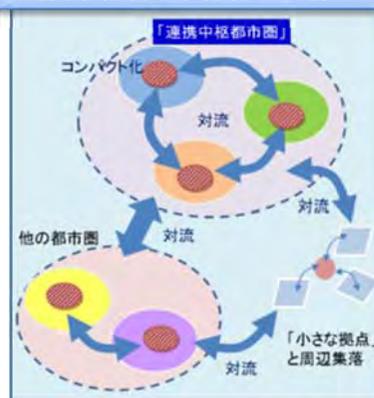
■みなとオアシス



みなとオアシス沼津



■連携中枢都市圏と他都市圏の連携イメージ



■広域連携による地域づくり

三遠南信地域の道路ネットワークを強化することで、三河港などの物流拠点を有する沿岸部と、農業、製造業等の産業拠点を結びつけ、ゾーン全体として産業を活性化



地域産業の活性化による地域活力の維持・発展

(1) 地域を支える農林水産業の強化

- ・農林水産業の成長産業化、6次産業化・地域ブランド化・農林水産物食品の輸出促進
  - ①農業 ・農地中間管理機構の活用、農地集積・集約化・汎用化、戦略作物、ICTスマート農業
    - ・地域の共同活動により支えられる農業・農村の多面的機能の維持・発揮
    - ・農業生産者と小口需要家間の多様な需要に対応、物流システム構築
  - ②林業 ・森林資源の循環利用、木質バイオマスエネルギー利用など新たな木材需要と雇用を創出
    - ・北遠・木曾・東濃・尾鷲等杉・ヒノキ、適切な森林管理とブランド化、森林認証制度(FSC等)
  - ③水産業 ・水産資源、漁場の適切な管理、保全、水産物の生産～陸揚～流通・加工 一貫供給システム
- (2) 地域住民の生活を支える地域消費型産業の振興・卸小売業や飲食業等

■農林水産業の成長産業化



パリ市内のホテルで開催された飛騨牛フェアの様子



戦略作物(飼料用米)の種への給与事例(高山市)



FSC林業認証(浜松市)

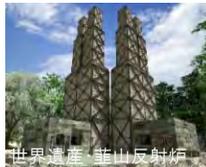
■多様な地域資源



海女漁(鳥羽・志摩市)



うだつの上がる街並み(美濃市)



世界遺産・葦山反射炉



丸山千枚田(熊野市)



富士山と調和する清水港

快適で安全・安心な生活環境の構築

(1) 住民や利用者のニーズにマッチした次世代交通システムの構築

- ①ICT・新技術等を活用した次世代交通システムの構築
  - ・ETC2.0の展開、効率的な経路選択や安全運転、ICT活用による自動運転の実現、交通や物流システムの変革
  - ・自動運転技術をオンデマンド型地域公共交通機関への応用・展開
  - ・超小型モビリティ、移動手段の常用化(環境負荷低減、高齢者の足、観光)
- ②モビリティセンターの構築
  - ・まちの核となる交通結節機能と都市機能を付加したモビリティセンター

(2) 住民生活の安全・安心の確保

- ①安全・安心な交通環境
  - ・生活道路・通学路の安全対策、歩行者空間・自転車利用環境整備
  - ・高齢者の交通事故対策
  - ・地方鉄道やバス交通等維持・確保、離島交通、フェリー、海上交通確保
  - ・交通環境のユニバーサルデザイン
- ②治安・防犯面等における安全の確保
  - ・地域コミュニティを活かした安全の確保、交番相談員の活用、防災・防犯活動拠点の確保、防犯ボランティアの育成と支援、夜間照明・防犯カメラ等居住環境の整備
  - ・サイバー空間の安全性、トレーサビリティによる食の安全等

地域の個性を活かした交流連携の創出

(1) 地域資源を最大限活用する観光振興

- ①中部ならではの多種多様な観光資源
  - ・世界遺産(富士山・熊野古道・白川郷・五箇山・葦山反射炉)
  - ・国立公園6ヶ所、特色ある地質・地形(ユネスコエコパーク・ジオパーク)
  - ・雄大な自然、原風景、農山漁村など美しい風土風景・景観
  - ・精神文化(伊勢神宮・熱田神宮等) 歴史文化資源(城郭・まちなみ、武将・忍者等) 漁猟文化(海女・鵜飼等) 食文化(山海資源、醸造技術等) 伝統文化(地歌舞伎、山車祭り等) 産業遺産
- ②地域資源の適切な保存・継承・磨き上げ・掘りおこし・活用による観光交流
  - ・グリーン・ブルー・エコツーリズムなど中部の魅力に直接触れる体験型・滞在型観光交流、スポーツツーリズム、インフラツーリズム
  - ・産業遺産や最先端のものづくりに触れる産業観光

(2) 歴史・文化の魅力を活かしたまちづくり

- ・魅力ある歴史文化資源(古都高山、白川郷・五箇山、城郭・街道筋、戦国遺産、山車文化、産業遺産、焼き物、刃物、和紙、からくり等)
- ・歴史文化資源の復元、まちなみ修景、水と緑を活かす都市空間形成

(3) 伝統工芸の振興

- ・ものづくり源流「からくり」、木工技術、刃物、焼き物、和紙、漆器、水引など
- ・古くから守り育んできた伝統技術、次代への継承、地域ブランド力

■伝統的街並みや歴史的建造物の保全と再生



龜山市関宿

■自動運転の実現に向けた取組(トヨタ自動車)



公道での自動運転

テスト車両

■超小型モビリティ(スマートモビリティパーク)



狩野川(沼津市)水辺のオープンカフェ

南海トラフ地震や頻発・激甚化する自然災害に備え、ソフト・ハード両面の防災・減災対策を推進。また、中部のアイデンティティ・生物多様性の確保や自然と調和した美しい景観創造、低炭素社会構築など環境との共生。加えて、健全な水や土砂管理、森林・農地の整備保全など国土の適切な保全。さらに社会経済活動を支えるインフラの適切な管理を通じて、強靱で環境と共生した持続可能な中部圏を形成

災害に対して粘り強くしなやかな国土の構築

(1) 南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築

- 産学官民130機関が連携した南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の取組進化
- 各県・市町村、地域強靱化計画や地震津波対策アクションプラン等の策定、取組強化
- 産学官民一体、ソフト・ハード両面、総合的な防災減災対策

(2) 頻発・激甚化する自然災害への対応

- 国土強靱化基本計画・地域強靱化計画、ハード・ソフト適切な組合せ、防災減災対策
- 新たなステージに対応した防災減災対策、産学官民53機関が連携、東海ネーデルラント高潮洪水地域協議会、ゼロメートル地帯における危機管理行動計画の進化
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定促進、警戒避難体制強化

(3) 都市の防災・災害対策の推進

- 災害被害の最小限化、迅速な復旧・復興を可能とする都市防災力
- 代替の効かない名古屋駅等の堅牢化、無電柱化、地下空間浸水対策、都市型水害対策、密集市街地対策、住宅・建築物耐震化・不燃化、高潮対策
- 帰宅困難者対策や住民、来訪者の避難誘導対策
- 遅れる地籍調査の加速



平成26年南木曾町梨子沢土石流(土砂被害)

(4) ものづくり産業の防災力強化

- 企業のライフライン代替手段確保、生産ライン設備の耐災害性強化
- サプライチェーン複線化や部品等の代替性確保、工場・事業所の分散・移転、個別企業のBCP策定促進等事前対策の充実化

(5) 広域的な連携による支援体制の強化

- 圏域を越えた災害時相互応援協定の締結等、広域的な救援活動・支援体制の構築
- 被災時の救出・救助や復旧・復興活動の拠点施設の耐震・液状化対策
- 広域緊急援助隊(警察)、緊急消防援助隊、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)強化

(6) ネットワークの多重性・代替性確保、並びに首都圏のバックアップ体制の強化

- ① ネットワークの多重性・代替性、太平洋・日本海2面活用型の強靱な国土構築
- 中部北陸圏、首都圏、近畿圏は我が国社会経済活動の要衝、途絶させない重要使命
  - 中部北陸圏の空港・港湾の代替性強化、東西軸・南北軸・環状軸強化、東西・南北に二重、三重にネットワークされた、太平洋・日本海2面活用型の強靱な国土
  - 重要交通網のネック箇所の土砂災害対策、港湾の耐震強化岸壁、緊急輸送道路ネットワークの整備・耐震化など、防災ネットワークの強靱化

- 強靱な国土の構築
- ネットワーク多重性・代替性確保
- 太平洋・日本海2面活用型国土
- 首都圏のバックアップ機能強化



② 首都圏のバックアップ体制の強化

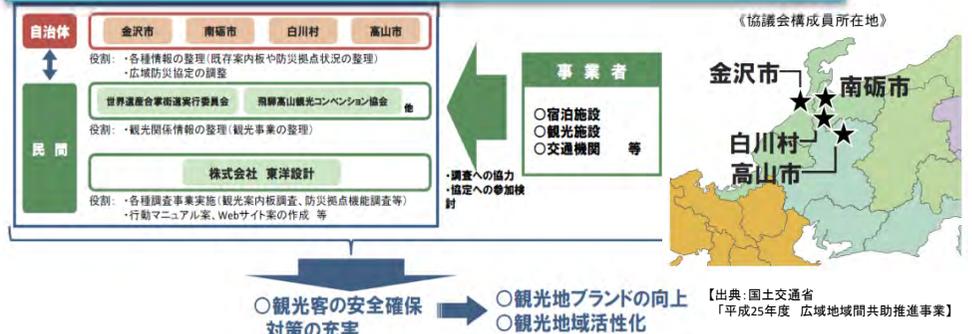
- 東西・南北にダブルネットワーク化された中部圏の防災力を活かした首都圏バックアップ
- 大規模な広域防災拠点の整備、広域防災ネットワーク強化
- 首都圏に集中する物流機能や企業本社機能等の移転受入促進
- 東西日本間の周波数変換装置拡充等、電力系統増強による電力逼迫時における広域的な電力融通の円滑化

(7) 地域防災力の向上

- 地域コミュニティをを活かし、地域自らが防災減災対策に取り組む自助・共助体制構築
- 防災士制度など活用、リーダー人材の育成

■ 北陸飛驒3つ星街道広域防災共助推進事業

- ◆ 北陸新幹線開業を見据えた広域観光事業推進のための協議会の枠組みを活用
- 災害時における観光客の避難誘導のあり方等を検証し行動計画を策定



環境と共生した持続可能な地域づくり

(1) 自然環境の保全・再生、環境と調和した美しい景観・国土づくり

① 生物多様性の確保

- ・中部のアイデンティティ・生物多様性、多様な植生や生態系の維持・保全
- ・広域的な動植物の生態系ネットワーク「緑の回廊」など先進的な環境保全
- ・侵略的外来生物駆除、多自然川づくり、「人」と「いきもの」が身近に共生、生物多様性保全「愛知目標」実現

② 沿岸域の海洋環境の保全・再生

- ・陸域と一体となった沿岸域の保全・再生、総合的な土砂管理、干潟・海浜の造成、漂流漂着ゴミ対策等

③ 自然と調和する美しい景観の創造・保全

- ・美しい自然や原風景、それらを背景に集落生活が造り出したまちなみや田園風景、農山漁村景観
- ・守るべき魅力ある自然空間、それらと融合する美しい景観の創造、地域が一体となって魅力空間を維持、創造

(2) 持続可能な都市・地域づくり

① 低炭素社会の構築

- ・温暖化ガス排出抑制、スマートシティ、未来都市／環境モデル都市(豊田市・飯田市・御高町等先進)
- ・グリーン物流、EV・PHV・FCV等導入促進、充電インフラ・水素ステーション整備促進

② 大気環境の保全 ・光化学オキシダント、微小粒子状物質

③ 担い手づくり ・2014「持続可能な開発のための教育(ESD)ユネスコ世界会議」成果を活かす学習や行動展開

■環境と共生した地域づくりへの取組

■清流の国ぎふ親子「森・川・海」体験ツアー



写真提供：岐阜県

■奈佐の浜清掃活動



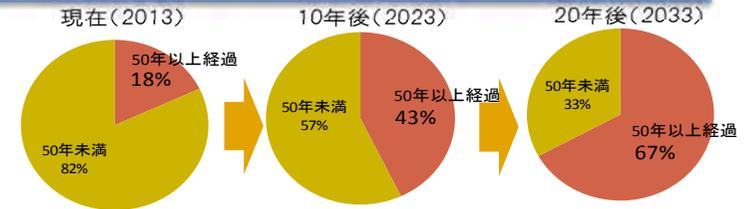
【出典：第8回伊勢湾再生推進会議資料】

■あいち生物多様性フォーラム



写真提供：愛知県

■戦略的なメンテナンスサイクル構築(道路橋の建設後50年経過橋梁の割合)



■インフラを賢く使う(事例)



飯田市：ラウンドアバウト事例

東海環状自動車道鞍ヶ池スマートIC・ラウンドアバウト事例

国土の適切な保全

(1) 健全な水循環、総合的な土砂管理による循環型国土の構築

① 健全な水循環

- ・森林・農地の保水力、水源涵養・地下水涵養・雨水貯留機能の維持向上、水辺空間の保全再生
- ・関係者の連携、流域の総合的かつ一体的な管理、健全な水循環の維持・回復
- ・伊勢湾の水質改善、排出汚濁負荷量の削減、干潟・浅場の保全再生等への取組
- ・「伊勢湾再生推進会議」を中心に流域圏一体、美しく健全な活力ある伊勢湾再生を目指す

② 総合的な土砂管理の推進

- ・流域における土砂移動の遮断、河床上昇や河道・河口閉塞、海岸浸食、砂浜機能低下
- ・山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理

(2) 物質循環の安定確保、地域循環圏形成

- ・地域で循環可能な資源は地域で、困難はものは循環の環を広域化、重層的な地域循環圏の形成
- ・廃棄物の適正処理、港湾などを活用した最終処分場

(3) 森林や農地の整備保全

- ・紀伊山地・木曽地域など豊富な森林資源、循環利用促進、担い手育成、「緑の国土強靱化」を促進
- ・農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮、農業を継続することで健全な国土の保全



インフラの維持・整備・活用

(1) インフラの戦略的なメンテナンスの推進

- ・インフラ長寿命化計画策定、戦略的なメンテナンスへの取組
- ・長寿命化対策や統廃合、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコスト削減、平準化
- ・メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)構築、継続的發展
- ・過積載等違法車両に起因する道路損傷、大型車両通行適正化

(2) インフラの戦略的な活用(賢く使う)

- ・インフラの高度利用、ITS安全運転システム、ETC2.0プローブデータ活用、VICS等、ICT活用・応用した社会システム(スマート・インフラ)構築
- ・ダムや導水路等水資源開発施設の運用高度化や港湾コンテナターミナル自動化 等

(3) 民間活力の活用

- ・PPP/PFI、コンセッション方式導入(有料道路、下水道、空港等)民間資金・技術・ノウハウの活用、民間の意欲、活力を阻害しないようなルールづくり

(4) 地域の守り手・建設業の強化、担い手の育成・確保

- ・安全安心な地域社会形成に不可欠な基幹産業、インフラ維持管理・災害対応力
- ・地域防災計画における指定地方公共機関への位置付けによる社会的認知
- ・中長期的な観点で安定的な公共投資の見通し確保による建設業の強化
- ・若者や女性が安心して入職、生き甲斐を持って働くことができる環境整備
- ・大学・地域連携による社会人教育(ex 岐阜大学社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座(ME)、中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会(建設若者塾等))
- ・学生を建設分野に誘う中部圏けんせつ未来懇話会

地域社会が連携し、高度人材やグローバル活躍人材、また地域で活躍する人材を育てるとともに、ゆとりある生活環境や、地域や人のつながり、地域コミュニティの強さを活かし、女性や高齢者、障害者、外国人など全ての人々が安心して働くことができ、増大する医療や介護、福祉の需要に対応、誰もが地域に愛着を持ち、助け合う共助社会を実現

中部圏を支える人材の育成と確保

(1) 高度人材、グローバルに活躍する人材

- ・世界最先端ものづくり研究・開発を担う高度人材、グローバル活躍人材の育成
- ・グローバル企業や大学等教育機関、産学官連携・協力の強化・広域化
- ・実践的教育・専門技術を磨く教育、初等教育からの質の高い教育
- ・海外・グローバル企業・教育機関等の人材交流

(2) 地域を支える人材

- ・地元企業・大学・高校等地域社会の連携・協力
- ・長期実践型インターシップ、フィールド実習等実践的教育、就職マッチング支援

全ての人々が参画する社会の形成

(1) 女性活躍社会の実現

- ・「子育てや家事を中心的に担う**堅実的なライフスタイル**の女性」「家庭と仕事を両立して、キャリアを積み**グローバルな活躍を目指す女性**」「**地域社会で活躍を望む女性**」等、多様なライフスタイル
- ・女性が**自身の経験と能力を活かし、場所や働き方にとらわれず、安心して子どもを産み育て、働き活躍できる環境**
- ・**テレワーク型**就労形態など**ワークライフバランス**の一層実現
- ・女性の雇用吸収力の高い三次産業、ものづくり産業から派生するサービス産業（設計、デザイン、技術研究等）
- ・子育て施設。家庭・職場・保育が近接、女性が起業しやすい魅力あるまちづくり

(2) 高齢者参画社会の促進

- ・**生涯現役志向**の高齢者増加
- ・**技術・知識・経験・ノウハウ**を有するシニア人材と企業のマッチング
- ・伝統工芸・芸能に関する技術の伝承
- ・公共施設の維持管理における退職技術者の活躍の場

(3) 障害者共生社会の実現

- ・障害者**自らの意思であらゆる社会活動に参加し、能力を最大限発揮し得る社会**
- ・社会の理解促進、身近に相談支援を受けられる体制、雇用促進・就労支援
- ・**ユニバーサルデザイン**のまちづくり

(4) 多文化共生社会の形成

- ・製造業等の現場における**外国人労働力は大きな力**
- ・外国人が地域で安心して暮らし働ける環境の実現
- ・コミュニティ単位での多文化交流・共生の意識を浸透
- ・医療、教育などの多言語環境、地域コミュニティの一員として活動できる環境

多様な主体による共助社会づくり

- ・愛・地球博を契機に様々な市民活動が萌芽
- ・**多様な日常生活支援サービス産業**(医療介護、福祉、まちづくり、見守り、子育て等)、地域の課題を発見し解決する**ソーシャルビジネス**、**課題解決型NPO**などの進展
- ・企業CSRの一環としての社会貢献活動やプロボノ活動
- ・**多様な主体の活動の継続性を実現する環境整備**(人材育成、資金循環、プラットフォーム構築)
- ・資金調達の仕組み(クラウドファンディング、ふるさと納税、社会的投資、ソーシャル・インパクト・ボンド等)、遺贈制度活用、寄附文化の醸成
- ・**地域自治組織**による地域課題への対応、**エリアマネジメント**や**小規模多機能自治**など

■多様な主体による共助社会・地域づくり

市民出資のファンドによるエネルギーの地産地消の推進  
(長野県飯田市)

飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例(H25.4.1)

目的 市域の豊富な再生エネルギーと地域の「結い」を活用して低炭素で活力ある地域づくりを実現  
⇒再生エネルギーによる電気の全量固定価格買取制度を地域で公共的に活用する制度を構築  
⇒再生エネルギーの活用と市民・公共的団体等・行政とのかかわりを明確化

地域環境権

全国初!!

再生エネルギーから生まれるエネルギーを市民共有の財産と捉え、市民には、これを優先的に活用して地域づくりをする権利がある。

市民を中心とする多様な主体が取り組む再生エネルギーによる地域づくり事業を公民協働事業として支援。



全国初

ソーシャルビジネス事業者支援に特化  
地方自治体、金融機関、中間支援組織の三者がネットワーク立ち上げ

「ソーシャルビジネスサポートあいち」スタート!

平成26年10月23日より!!

ソーシャルビジネスサポートあいちって?

〇創業前からスタートアップ期にあるソーシャルビジネスを営む方々が抱える、「経営面」、「財務面」等の悩みを、参加する地域の支援機関が連携して支援するネットワークです。

- 補助金の申請がしたい!
- 創業資金が欲しい!
- 設立手続きが知りたい!
- 事業計画を作りたい!

イメージ図



【出典:名古屋市(なごや★ほらんぼナビ)HP】

### 第3章 将来像実現に向けた具体的方策 第5節【方針5】人材育成と共助社会の形成 ②

#### 誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたい地域づくり

- ・地域産業の活性化、共助社会、医療・介護・福祉面の充実などにより、**安心して働くことができる環境整備**
- ・田園回帰志向、UIターン・ふるさと移住促進などによる**外部活力の取り込み**
- ・多様な地域性、生活のゆとり感、自然と都市の近接性、歴史文化、伝統工芸、食文化など**地域の魅力を再発見・再認識**、情報発信
- ・子供たちの地域活動や農業・農村体験による**郷土愛の醸成**

#### (コミュニティの再生)

- ・価値観の多様化、世代間・地域間連携の希薄化、コミュニティ弱体化への対応
- ・**地域や人のつながりを活かした子育てや介護**などによるコミュニティ再生
- ・**空き家**や公的賃貸住宅などの活用、若者や高齢者向けの住宅供給、子育て施設整備、世代間交流促進につながる**ソーシャルミックス、コミュニティ力再生に寄与**

#### ■人材育成・女性活躍社会に向けた取組

「なでしこ銘柄」選定企業

H24ダイバーシティ経営企業100選(経済産業大臣表彰)

◇豊田通商(株)

- ・仕事と家庭の両立支援制度の充実と利用できる風土の醸成
- ・女性のキャリア開発支援の取組
- ・多様性の促進に向けた様々なアプローチ



「いきキャリア研修」研修風景

#### ■「岐阜県モノづくりグローバル人材育成事業」タイでの研修



写真提供：岐阜県

#### ■コミュニティ再生に向けた取組

就農希望者の里親研修風景



写真提供：長野県

「愛知県交流居住センター」による空き家見学ツアー



写真提供：愛知県

「道の駅」田切の里(整備中) (長野県飯島町)



> 地域福祉拠点、都市住民との交流拠点としての機能を備える

#### 医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保

#### (増大する医療・介護・福祉需要)

- ・医療提供体制の再構築や医療機関の連携による効率化
- ・医療機関と介護サービス事業者等の連携強化
- ・住み慣れた自宅や地域で、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」サービスを一体的に受けられる**地域包括ケアシステム**の実現
- ・サービス付き高齢者住宅の供給、重層かつ柔軟な住宅セーフティネット構築、住宅政策と福祉政策のハード・ソフトが連携した環境整備
- ・ICT活用による、在宅医療・介護システムや遠隔医療システム、緊急通報システム等**高齢者の見守りシステム**による安心の提供
- ・**福祉・介護人材不足への対応**、装着型ロボットスーツなど現場のニーズに即した医療・福祉機器開発
- ・日本版CCRC(高齢者が地域社会で健康なアクティブ生活、必要な医療・介護を受けることができる地域づくり「元気なうちの田舎暮らし」)の検討

#### (救急救命環境)

- ・ドクターヘリやドクターカーの運用、広域的に迅速・的確に対応する救急救命環境

#### ■地域包括ケアシステムの概要



#### ■ウェルネスバレー構想(大府市・東浦町)

- > 「あいち健康の森」周辺に集積する健康・医療・福祉施設・機能のポテンシャル
- > 多様な主体の相互連携、健康長寿に関する一大交流拠点形成を目指す

#### ウェルネスバレーの形成 (健康長寿の一大拠点)

